

# 令和5年度 ボランティア講演会 実施報告書

【開催日時】 令和6年2月4日（日）13：30～15：00

【開催場所】 安芸高田市民文化センター（クリスタルアージュ）4階 小ホール

【参加者数】 市民84名 役職員8名

【内 容】 演題：暮らしやすい地域を創るヒント！  
～毘沙門台社協の取り組み事例を中心に～  
講師：毘沙門台学区社会福祉協議会 顧問  
NPOまちコラボひろしま 代表 林 裕 氏

●13：00 受付開始

●13：30 開会



●13：40 講演





郊外団地の抱える福祉課題や住民と社協の協働による取り組み、ボランティア活動を通じた地域づくりなど、事例を基に解りやすくご講和くださり、参加された住民の方並びに職員も自分たちの暮らす地域について考え、参加ではなく、参画することの大切さを学ぶ機会となりました。

●14：45 質疑応答・アンケート記入

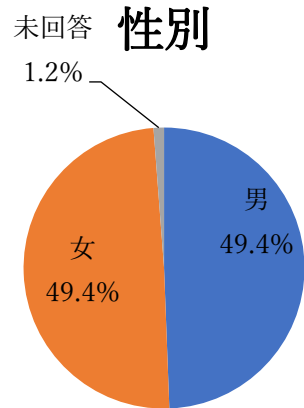
●15：00 閉会

# アンケート集計

【参加者数】 市民 84 人 役職員 8 名  
 【回答者数】 市民 83 人

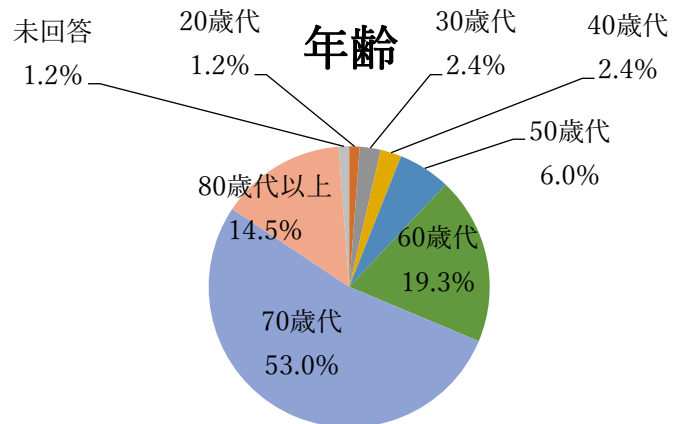
## ○ 性別

男 41 人  
 女 41 人  
 未回答 1 人



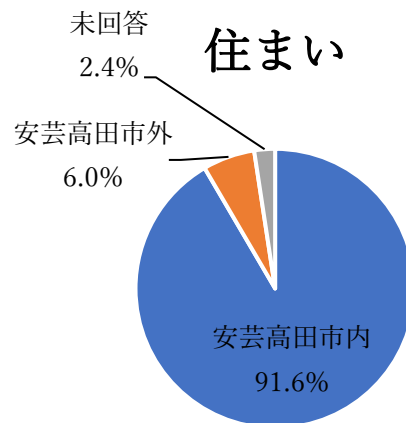
## ○ 年齢

10 歳代 0 人  
 20 歳代 1 人  
 30 歳代 2 人  
 40 歳代 2 人  
 50 歳代 5 人  
 60 歳代 16 人  
 70 歳代 44 人  
 80 歳代以上 12 人  
 未回答 1 人



## ○ お住まい

安芸高田市内 76 人  
 安芸高田市外 5 人  
 広島県外 0 人  
 未回答 2 人

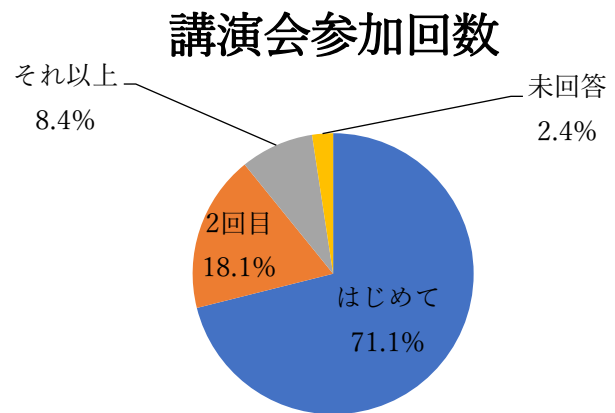


Q1. 講演会をどちらで知りましたか？

新聞折込チラシ	20人	
お太助フォン	9人	
ポスター	8人	
知人	31人	
未回答	4人	
その他	23人	(○社協 ○民生委員 ○桂古民家 ○会員 ○紹介 ○DM)

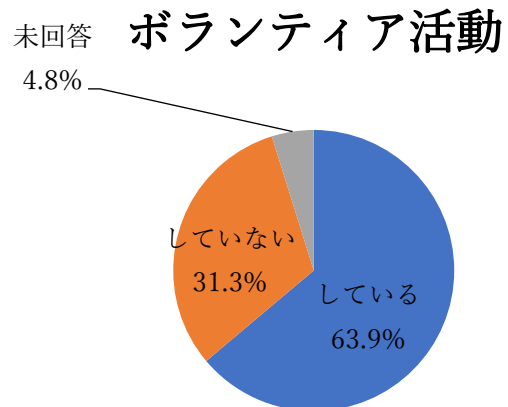
Q2. ボランティア講演会への参加回数は？

はじめて	59人
2回目	15人
3回目	0人
それ以上	7人
未回答	2人



Q3. ボランティア活動をされていますか？

している	53人
していない	26人
未回答	4人
(主な活動内容)	



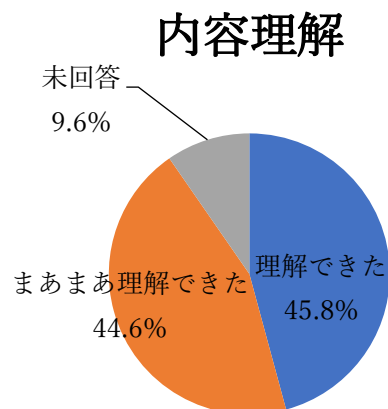
❖ どのような活動ですか？ (していると回答した方)

- 高速バス停留所掃除
- 見守り活動
- 困りごと支援
- いきいき百歳体操
- ふれあいサロン
- 読み聞かせ (保育所、学校、老人施設)

- 認知症カフェのお手伝い
- 地域活動→落ち葉（道路、水路）  
土砂（道路）
- 買物、薬受取、振込み
- 高齢者への配食サービス
- 清掃
- 市老連、町老連
- まちづくり
- 桂古民家の再生プロジェクト
- 吉田町ボランティアセンターの活動
- 郡山の掃除
- 小物作り
- 外出支援
- 落葉集め、獣害対策の策点検
- 子育て支援
- 災害支援
- コロナ前に料理をして、食べていただいたりしていた地域の高齢の方に、品物などを送っている
- 振興会活動
- PTA
- 民生委員、児童委員
- 介護施設にマジックで慰問

Q4. 講演会の内容は理解できましたか？

理解できた	38人
まあまあ理解できた	37人
理解できなかった	0人
未回答	8人



Q5. 講演会の内容で特に興味を持たれたことや感じたことをお聞かせください。

- 地域の活性
- 住民同士のつながりが強く出来ていることに、とてもうらやましく思います。ちょっとした気づきが大きな輪になっていくことに、とても共感させられました。

- 活動人口を増やすという考え方を地域でも広めていきたい。
- 地域の困りごとなど、住民が求めていることを社協ができること、住民ができることとはなし合い、その中から解決方法を見つけていく方法を教えていただき、参考になりました。地域に参画していくということからはじめてみたいと思いました。
- 絆づくりの大切さを感じました。
- 話しの内容にやや合わない所がありました。もう少し地域に合った話しがしてほしいと思います。
- P27～P33 参考になった。
- 大変良くわかった。
- 地域との協力体制づくりに、興味あり。
- 古民家について他
- 地域づくり、活性化させる方法は、必ずしも全て無報酬による活動でなく、その活動を発展・継続させるためには、適切な料金・会費を頂くことも必要であると感じました。何かしら新たな活動意欲がわき、仲間を募っていききたいと思いました。
- 地域のつながりは大切だと思いますが、地域づくりのために活動する人が少なく、活動しにくいのが現状だと思います。
- サロンの企画
- 団地内での活動は団地入所時代から、地域の役員、社協職員の地道な努力等により活性化されていると思いました。私共も協力をして、地域福祉の発展に前進したいと思います。
- SWAT等を用いながら企画に繋げていくことで、より良いアイデアやイベントになっていくと分かりました。
- 人的ネットワークづくりについて積極的に取り組んでみたい。
- その地域での知恵を活かしたい。
- 地域の課題を掘り起こし、課題解決にされたこと。メンズサロンについて。
- 地域を創るヒント。2025年問題。2035年問題について。人手不足など。
- 桂地区の古民家の持ち主さんは個人なのに、それに対してDIYとか改修とか資金を援助するのって・・・疑問を持ちました。古民家・・・古い家屋になって改修が必要と思っているヒトは他にもたくさんいらっしゃるのではないかと思います。毘沙門台のボランティア活動はよく理解できました。
- 私達の町でも少しずつ、サロンが出来始めているのがうれしいことです。
- 住民と直接会って話しをすること。
- 地域の交流会のしかた、参加方法、住民としての心がまえ、年を重ねても、何事にも興味をもち参加できる所へは足を運び、地域交流への一步を地域の皆で考えていきたいと思いました。
- 住民みんなが地域づくりに関心を持つことの大切さ、また、そのための仕組みづくりに感心しました。私達の地域でもできることから取り組んでいきたい。
- 参加することからはじめて、参画して地区の為になれたらいいなと思います。講演、

今後共にまた聞きたいと思います。すばらしい。

- リーダーシップがすばらしいので感心しました。
- 町、集落でお年寄りの人全員に声をかけて、皆で町内の町作りを考える。
- すばらしい講演でした。
- 小地域での実態をデータ化し、課題を明確にし行政、地域の関係機関と連携しながらすすめていく。地域の社会資源を活用する。住民との参画。
- 協同作業の重要性
- ボランティアに参加するだけではなく参画することで地域の活性化につながる良い話を聞きました。
- リーダーのなり手がいない。高齢化しても頑張っておられるリーダーを引きつぐ人がいない。グループの人数が減って消滅しつつある。どんな対応がありますか。
- 今後参考としたい。
- 地域のコミュニティーづくりは、企画に参加するぐらいだったので、流れなどについて学ぶことができました。社協さんと関わるのが始まったばかりですが、少しずつ地域のお役に立つことができるようにしていきたいです。
- 活動人口を増やす→輝く地域  
参加→参画する
- 色々な取り組みの糸口があるのがわかった。
- 地域と一緒に活動して行く様子。素晴らしいですね。
- 多種多様な活動をされており感心しました。
- 自治会の運営はどこの地域でもすたれている感があります。活発にお世話して下さっていた方が高齢化で、若い人につながっていないことを痛感します。サロンの運営とか、ねむっていた人材を活かした活動は、今までのボランティアの概念をくつがえすもので有意義でした。
- 「参加する」ことから「参画する」ことで活動が活性化する。次のリーダーを育てるためには極めて有効と考えます。

Q6. その他ご意見・ご感想がありましたらお聞かせください。

- 人口減少は安芸高田市だけではないのですね。これから先どうして行ったらいいのでしょうか。考えさせられます。
- テーブル（机）が欲しかったですね。
- 担い手不足で大変苦勞しております。
- ありがとうございました。とても勉強になりました。少しずつでも前向きに取りくんでいきたいと思います。
- 良い講演でした。ありがとうございました。
- 地域づくりの参考になりました。
- 企画書作成時、行政からのデータ、資料提供について、個人情報等の関係で出し

て頂けない事がありますか？どの様にされておられるのか。

- 林先生のようなお方がどこにもいらっしゃるとは思いませんが、今日聞かせてもらった者がそっせんしてやらなければならないと思います。
- 分かりやすい話ありがとうございました。今後の地域福祉に活かせたらいいと思いました。
- 今回の講演を聞いて、市にしか出来ない事、社協にしか出来ない事、私達個人にしか出来ない事、頑張っしてほしいし、頑張りたい。
- 本日は講演をありがとうございました。
- 今回、有意義な講演会でした。ありがとうございました。
- 小売店、コンビニがない R54 吉田→甲田町間  
買物弱者になる。買物に行く足がない。(タクシーは高い。おたすけワゴンは自由がない)
- 勉強になりました。ありがとうございました。
- 何か地域の為にしたいけど、どうしたらいいかわからない。隣の人は何する人ぞのような関係ではいけなという思いばかりつづっている現在です。
- 運命共同体として、さらに信頼と一体感の形成を目指すことがいると考えられる。ひととひとの関係をつながりから信頼と絆に。